

【 まちの将来像5 】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の方向性	本市の農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続し、成長を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
	3	★ 商業の活性化
	4	企業活動への支援
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-1-1	★ 農林業の振興
1	事業名	◎ 新規農業者養成事業
	目的及び概要	農業の担い手の高齢化や若者の農業離れ等により担い手が不足し、将来、農地の遊休化が進むと考えられ、今後、持続的な農業の推進には都市住民等に農業に興味を持ってもらう必要があることから、市民や学生等を対象とした農業体験を実施し、農家への援農や将来、新規就農に結びつける。また、一定の営農技術を取得しているものに対し、国の給付金を活用して、農業経営をサポートする。
	H29年度	内容 ①農業体験の実施 ②国の給付金を活用した支援の実施 ③農業体験ファーム受講者に対する支援
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続
	方向性(対前年度比)	拡充 事業費(百万円) 5.0 うち市負担分(百万円) 0.5
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	有害獣対策事業
	目的及び概要	有害獣による農作物被害の防止を図るため、イノシシ・アライグマ等の捕獲活動の実施や有害獣防止柵・網の設置に対して助成を行い、農業経営の安定化と地域の活性化を図る。
	H29年度	内容 ①有害獣防止柵設置に対する支援 ②捕獲活動に対する支援
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続
	方向性(対前年度比)	継続 事業費(百万円) 2.6 うち市負担分(百万円) 2.6
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	環境保全型農業推進事業
	目的及び概要	生産性・収益性の高い作物の奨励や栽培技術、営農指導を行い、エコ農産物の栽培や環境に配慮した環境保全型農業を推進することにより、市民に安心・安全な農産物を供給し、地産地消を推進する。
	H29年度	内容 ①エコ農産物の栽培支援 ②有機性資源を活用した土づくりに対する支援 ③農業祭や広報誌等を活用し、生産・販売しているエコ農産物の情報発信
	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続
	方向性(対前年度比)	継続 事業費(百万円) 0.9 うち市負担分(百万円) 0.9
担当課	部名	産業環境部
	課名	農とみどり推進課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 農業振興推進事業(遊休農地解消事業)													
	目的 及び 概要	農業委員会等との連携や集落営農の組織化支援、都市住民等の担い手の確保を行い、遊休農地の解消を図る。				H 29 年度	内 容	①農業委員会と連携した遊休農地調査や営農指導 ②農地中間管理機構や準農家制度を活用した担い手の確保 ③集落営農へ農機具等の貸付等の支援の実施 購入費 3,430千円 貸付料 205千円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	3.3	うち市負担分 (百万円)	3.3	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
5	事業名 遊休農地解消事業													
	目的 及び 概要	農とみどり推進課等と連携し、優良農地の確保及び担い手の利用促進に努め、遊休農地の解消及び未然防止を図る。				H 29 年度	内 容	①農地の利用状況調査 ②農とみどり推進課との連携、農地中間管理事業や準農家制度を活用した担い手の確保					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
担当課	部名	農業委員会		課名	農業委員会事務局		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
6	事業名 林業推進事業													
	目的 及び 概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】				H 29 年度	内 容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助金を交付 ②森林病害虫対策の実施 ③森林整備に必要な林道の維持経費					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.4	うち市負担分 (百万円)	13.0	H33 年度	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-1-2		★ 都市と農村の交流活動等による活性化											
7	事業名		◎ 農業振興推進事業(農空間活用事業)												
	目的 及び 概要	直売活動や都市と農村の交流活動を活発化させるため、新たな特産品の栽培・販売支援や農商連携を行い、地産地消の促進を図る。	H 29 年度	内 容	①れんげ米の栽培支援 ②新たな特産品の開発、販売の促進 ③農商連携によるアンテナショップの開設検討							事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
												H30 年度	継続		
												H31 年度	継続		
												H32 年度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H33 年度	継続			
					担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名 ふれあい農園管理事業												
	目的 及び 概要	自然にふれあう機会と農業を体験する場を提供するため、市民農園の管理運営を行うとともに、平成10年よりふれあい農園の管理業務を市で実施しているが、平成25年度に6箇所目の農園を開園し、業務量が増大しており、事業費及び事務量の削減のため、平成31年度より指定管理者制度による運営を行う。	H 29 年度	内 容	①講習会の開催 ②入園者の募集 ③日常の管理運営 ⑤指定管理者制度の検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.4	うち市負担分 (百万円)	1.4	H30 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
9	事業名 農業祭開催事業												
	目的 及び 概要	市内農林産物等を展示し、都市と農村の交流を図ることにより、農林業に対する市民の理解と認識を深めるとともに、農林業の健全な発展と農業・農村の活性化を図る。	H 29 年度	内 容	①農業祭開催のための負担金						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H30 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
10	事業名 ◎ 北辰中学校跡地活用事業												
	目的 及び 概要	都市住民や地域住民が交流出来る施設として整備を図り、あわせて販売や飲食などを通じて地場産品のPRや周辺農地を活用した体験農園を整備する。	H 29 年度	内 容	①事業の方向性の検討 ②オートキャンプ場の暫定開設						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	6.3	うち市負担分 (百万円)	6.3	H30 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
11	事業名 都市と農村交流情報発信事業												
	目的 及び 概要	もぎ取り園などの体験型農園や直売所におけるイベントの開催等についての情報発信を行い、都市と農村の交流を促進し、農業の振興を図る。	H 29 年度	内 容	①広報誌及びHPによる情報発信 ②農林業に関係した魅力の発掘や情報の収集 ③交流促進につながる情報発信						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	継続	
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-1-3		★ 商業の活性化											
12	事業名	◎ 産業振興アクションプラン推進事業													
	目的 及び 概要	産業振興ビジョンに位置付けた「市内産業のあるべき姿」を実現するため、産業振興アクションプランの重点施策を中心に、一体的かつ継続的に取り組む。				H 29 年 度	内 容	①アクションプラン(前・後期)の実現に向けた事業の構築・実施 ②女性向け起業セミナー(入門編) ③女性向け起業セミナー(実践編) ④学生向けビジネスプラン作成セミナー ⑤中小企業者を対象とした貿易など海外展開に必要な知識を得るための講座費用の一部助成やセミナーを実施 ⑥農商連携の取組に向けた交流会						事業の方向性の 見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	4.7	H30 年度	拡充
														H31 年度	拡充
												H32 年度	拡充		
												H33 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
13	事業名	商工業振興補助事業													
	目的 及び 概要	市内の商業活性化を促進するため、商店街等が行う共同施設関連事業(施設・設備等の設置)、共同運営事業(活性化計画の策定、顧客利便施設の運営等)、イベント等にかかる事業経費の一部を補助する。				H 29 年 度	内 容	①商店街等の共同施設関連事業、共同運営事業、イベント事業、街路灯維持管理事業に補助金を支給						事業の方向性の 見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.7	うち市負担分 (百万円)	6.7	H30 年度	継続
														H31 年度	継続
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
14	事業名	◎ 小売店舗改築(改装)補助事業													
	目的 及び 概要	市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。				H 29 年 度	内 容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、小売店舗の改築・改装する場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、小売店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給						事業の方向性の 見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.5	うち市負担分 (百万円)	5.5	H30 年度	継続
														H31 年度	継続
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
15	事業名	産業活性化プロジェクト促進事業													
	目的 及び 概要	市内産業の活性化につながる民間の主体的な取組を促進するため、市内で事業を営むものが実施する、事業者や商品のPR事業、新製品開発を行う事業に対し、申請者からの事業提案に基づき、経費の一部を補助する。				H 29 年 度	内 容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付						事業の方向性の 見込み (対前年度比)	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.0	うち市負担分 (百万円)	1.0	H30 年度	継続
														H31 年度	継続
												H32 年度	継続		
												H33 年度	継続		
	担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

取 組		5-1-4		企業活動への支援									
16	事業名	企業立地支援事業											
	目的 及び 概要	既存企業の市内での事業継続に資するため、企業訪問を通じて、企業が求める行政情報を把握・提供するとともに、企業支援のワンストップ窓口を設けるなど企業活動を支援している。	H 29 年度	内 容	①企業訪問活動 ②企業が活用できる支援事業等の周知 ③広報誌による市内企業の紹介 ④企業からの相談のワンストップ化						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.6	うち市負担分 (百万円)	0.6	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
17	事業名	企業立地促進奨励金事業											
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】	H 29 年度	内 容	①償却資産の対象等制度の見直しの検討 ②本社機能移転とそれに伴う雇用増に対する支援策の検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	拡充	
											H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	449.2	うち市負担分 (百万円)	449.2	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
18	事業名	商工会議所事業補助											
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。	H 29 年度	内 容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	13.9	うち市負担分 (百万円)	13.9	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
19	事業名	経営相談・指導事業											
	目的 及び 概要	市内の商店や企業の発展、創業希望者の開業を支援するため、経営アドバイザー(中小企業診断士)とともに、事業者への助言、指導等を行う。 【関連取組:5-1-3 商業の活性化】	H 29 年度	内 容	①経営アドバイザーによる創業希望者の開業支援(助言・指導等) ②経営アドバイザーによる商工業者、大学生をはじめとした若者等の経営相談 ③事業所・商店街等への巡回						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	4.2	うち市負担分 (百万円)	4.2	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

20	事業名	融資関連補助事業													
	目的 及び 概要	中小企業者の融資に係る負担の軽減を図り、中小企業の健全な発展と経営の安定を促進することで市内商工業の振興に資する。				H 29 年度	内 容	①信用保証料補助 ②特定創業支援計画に係る支援を受け、市の証明書の交付を受けた創業者に対し、利子補給を行う。					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	7.7	うち市負担分 (百万円)	7.7	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	縮小	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分		一般		事業区分		ソフト			
21	事業名	産業情報サイト運営事業													
	目的 及び 概要	商工業を中心とした市内企業の情報化を促進し、消費者の利便性の向上を図るため、産業情報サイトを整備し、サイト内において市内の商店や企業の業務内容や営業案内等を掲載して広く消費者等に情報発信を行う。				H 29 年度	内 容	①サイトのリニューアル ②サイトの運営 ③サイトの保守管理					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	4.7	うち市負担分 (百万円)	4.7	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分		一般		事業区分		ソフト			
22	事業名	中小企業融資対策事業													
	目的 及び 概要	中小企業者の経営安定を図るため、大阪信用保証協会の100%保証による、茨木市中小企業振興資金融資と大阪府中小企業融資を斡旋している。また、セーフティネットに伴う市町村認定も行っている。				H 29 年度	内 容	①茨木市中小企業振興資金融資及び大阪府中小企業融資の斡旋 ②セーフティネットに伴う市町村認定					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分		一般		事業区分		ソフト			

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の方向性	特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積や幹線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創出とともに、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-1		★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成										
1	事業名 ◎ 創業促進補助事業													
	目的 及び 概要	本市における創業を促進するため、新たに営利を目的として創業する者に対して、テナント料(6か月又は12か月分・限度額 月額5万円)及び改装工事費の1/2(限度額50万円)を補助する。 また、中小企業経営アドバイザーとともに、事業計画の作成に関する指導等を行い、開業後の巡回訪問により状況把握に努める。				H 29 年 度	内 容	①市内で新たに営利を目的として創業する者に対して補助金を支給					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	11.3	うち市負担分 (百万円)	11.3	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
2	事業名 ◎ 産学連携スタートアップ支援事業													
	目的 及び 概要	市内中小企業者等の優れた技術の掘り起こし、及びその実用化に向けた取組を促進することにより、本市の経済成長及びイノベーション創出に寄与することを目的とするため、大学の保有する研究成果・技術をもとにした、産学連携の研究開発事業等に対して、その費用の一部を補助する。				H 29 年 度	内 容	①中小企業者の具体的な新技術や新製品または新サービスの研究開発、技術革新などに関し、市内大学等と行う連携事業にかかる経費の一部を補助 ②市内大学以外の大学との連携事業も対象とする ③企業と大学との連携機会を創出するため産学連携交流サロン事業を実施					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	12.0	うち市負担分 (百万円)	12.0	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
3	事業名 ◎ バイオインキュベーション施設集積促進補助事業													
	目的 及び 概要	バイオインキュベーション施設の集積促進を図り、本市産業の振興に資するため、バイオインキュベーション施設の運営者が行うバイオインキュベーション施設集積促進事業を支援する。				H 29 年 度	内 容	①バイオインキュベーション施設集積促進事業に要する経費のうち、施設賃借経費、人件費及び管理経費の一部を助成					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	23.5	うち市負担分 (百万円)	23.5	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 ◎ バイオインキュベーション施設賃料補助事業													
目的 及び 概要	バイオベンチャー企業の集積を図り、本市産業の振興に資するため、彩都ライフサイエンスパーク内の施設(彩都バイオインキュベータ、大阪府認定施設、彩都バイオインノベーションセンター)に入居し、ライフサイエンス分野の研究開発を行うバイオベンチャー企業に、施設の賃料の一部を補助する。				H 29 年度	内 容	①バイオインキュベーション施設に入居するバイオベンチャー企業に対して、施設の賃料の一部を補助						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													方向性 (対前年度比)	継続
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-2		★ 幹線道路沿道での企業立地誘導											
5	事業名		◎ 幹線道路沿道土地利用事業												
目的 及び 概要		広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】				H 29 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理組合設立支援 ②農業振興地域整備計画の変更(農林課) ③関係機関協議						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
								方向性 (対前年度比)						継続	事業費 (百万円)
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-2-3		★ 特区制度などを活用した企業立地											
6	事業名		◎ 茨木市成長特区税制における事業計画認定等事務事業												
	目的 及び 概要	地域経済の活性化及び持続的な発展に繋がる成長企業の誘致を図るため、市内の成長産業特区指定区域において、ライフサイエンス分野や新エネルギー分野などの事業を実施する企業の事業計画を認定し、当該企業の法人市民税や固定資産税の軽減を行う。	H 29 年度	内 容	①成長産業特区における市税の軽減の対象となる事業計画の認定及び変更認定						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
											H30 年度	継続			
											H31 年度	継続			
											H32 年度	継続			
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						
7	事業名		◎ 【再掲】企業立地促進奨励金事業												
	目的 及び 概要	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】	H 29 年度	内 容	①償却資産の対象等制度の見直しの検討 ②本社機能移転とそれに伴う雇用増に対する支援策の検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)				
											H30 年度	継続			
											H31 年度	拡充			
											H32 年度	継続			
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(449.2)	うち市負担分 (百万円)	(449.2)	H33 年度	継続			
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト						

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の方向性	働く意欲はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能力と希望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いきいきと働くことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-3-1	★ 就労の支援
1	事業名	◎ 就職サポート事業
	目的及び概要	就労支援などを行う関係機関と連携し、就職困難者等の職業的自立を目指すため、就職相談、講習会・セミナーの実施や職業訓練校等への誘導、合同就職面接会の開催など就職に向けた支援を行う。 H29年度 内容 ①就職や労働問題に対する仕事なんでも相談 ②就職困難者の職業能力を開発する講座開催や講座受講費用の補助 ③求職者と地元企業をつなぐ企業説明会・見学会や、直接就職に結びつく合同就職面接会の開催 ④就労を体験する事業の実施 事業の方向性の見込み(対前年度比) H30年度 臨時拡充 H31年度 臨時拡充 H32年度 継続 H33年度 継続
	方向性(対前年度比)	臨時拡充
	事業費(百万円)	8.4
	うち市負担分(百万円)	5.3
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
2	事業名	雇用促進奨励金事業
	目的及び概要	市民の安定就労に資するため、市民を雇用した市内事業所に対し奨励金を交付する。 H29年度 内容 ①事業内容や必要性を精査し、そのあり方を検討 事業の方向性の見込み(対前年度比) H30年度 廃止 H31年度 - H32年度 - H33年度 -
	方向性(対前年度比)	継続
	事業費(百万円)	10.0
	うち市負担分(百万円)	10.0
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	障害者雇用奨励金事業
	目的及び概要	障害者雇用を促進し、障害者の自立の助長と福祉の増進を図るため、障害のある市民を雇用する事業主に対して、奨励金を支給する。 H29年度 内容 ①障害のある市民を雇用し、国の特別求職者雇用開発助成金を受給する事業主に対して、奨励金を支給 事業の方向性の見込み(対前年度比) H30年度 継続 H31年度 継続 H32年度 継続 H33年度 継続
	方向性(対前年度比)	継続
	事業費(百万円)	3.1
	うち市負担分(百万円)	3.1
担当課	部名	産業環境部
	課名	商工労政課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組		5-3-2		★働きやすい職場づくりの推進										
4	事業名 ◎ 雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業													
	目的 及び 概要	健全な雇用関係の確立及び働きやすい職場環境の実現を図るため、セミナーを開催するとともに、公正な採用選考、障害者・高齢者雇用促進などの啓発活動を実施している。	H 29 年度	内 容	①労働法制等の理解を深め、労働関係の安定を図るセミナーの開催 ②障害者等の雇用促進や働きやすい職場づくりのための啓発活動 ③働きやすい職場づくりを支援するセミナーの開催							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.7	うち市負担分 (百万円)	0.7	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般			事業区分	ソフト				
5	事業名 茨木市勤労者互助会補助事業													
	目的 及び 概要	パートタイマーを含む従業員の福祉の増進、および事業所における雇用の安定を図るため、勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給する。	H 29 年度	内 容	①勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般			事業区分	ソフト				
6	事業名 勤労者スキルアップ支援等セミナー													
	目的 及び 概要	勤労者の能力向上や勤労者福祉の増進を図るため、勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーや、働きやすい職場づくりを支援するセミナーを開催している。	H 29 年度	内 容	①勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーの開催							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.8	うち市負担分 (百万円)	0.8	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般			事業区分	ソフト				
7	事業名 ◎ 働きやすい職場づくり推進事業													
	目的 及び 概要	勤労者の福祉の向上を図るため、両立支援や福利厚生充実など働きやすい職場づくりに取組む事業主に支援を行う	H 29 年度	内 容	①両立支援等の働きやすい職場づくりを行う事業所を支援するため、当該事業所のPR等を実施する事業を創設							事業の方向性の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		新規	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H33 年度	継続						
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般			事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
施策の方向性	広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
	2	★ 彩都の都市づくり
	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-4-1		計画的な都市基盤整備や市街地整備											
1	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業													
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】				H 29 年度	内 容	①都市計画決定等						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(1.4)	うち市負担分 (百万円)	(1.4)	H33 年度	継続								
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業													
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理組合設立支援 ②農業振興地域整備計画の変更(農林課) ③関係機関協議						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H33 年度	継続								
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
3	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業													
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	①内閣府との協議、エリアマネジメント体制の構築検討、デザイン指針の検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	-
														H31 年度	-
														H32 年度	-
方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(4.8)	H33 年度	-								
担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名【再掲】立地適正化計画策定事業											
目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 29 年度	内 容	①都市機能誘導施設の検討 ②居住誘導区域の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(6.2)	うち市負担分 (百万円)	(3.1)	H33 年度
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-4-2		★ 彩都の都市づくり										
5	事業名 ◎ 彩都建設推進事業													
目的 及び 概要		大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 29 年度	内 容	①(西部地区) 交番の設置要望及び警察官立寄所の設置への取組み ②(中部地区) 市に換地される土地への企業等の誘致の実施 ③(東部地区) 先行エリアの事業推進 ④(東部地区) 残りのエリアの事業化に向けた取り組み							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	17.5	うち市負担分 (百万円)	17.5	H30 年度	継続	
											H31 年度	継続		
											H32 年度	継続		
											H33 年度	継続		
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
6	事業名 【再掲】山麓線整備事業													
目的 及び 概要		市域山麓部の東西交通と彩都地区のアクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】	H 29 年度	内 容	①委託 C= 20.0百万円 ②工事 C=260.2百万円 ③用地 C=100.0百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	(380.2)	うち市負担分 (百万円)	(272.2)	H30 年度	継続	
											H31 年度	完了		
											H32 年度	-		
											H33 年度	-		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
7	事業名 谷山水路整備事業													
目的 及び 概要		彩都東部地区の一部エリアの事業化に伴って実施する地区外水路整備事業	H 29 年度	内 容	①水路整備工事							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	75.8	うち市負担分 (百万円)	75.8	H30 年度	完了	
											H31 年度	-		
											H32 年度	-		
											H33 年度	-		
担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の方向性	市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルールの作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み続けたいまちをめざします。 また、緑地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうおいのある環境づくりをめざします。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
	3	★ 良好な景観の保全と創造
	4	良好な住宅ストックの形成
	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-5-1	快適で良好な住環境の形成									
1	事業名	【再掲】細街路等整備事業									
	目的及び概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】				H29年度	内容	事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							①用地購入費 ②整備補助金 ③公幅	H30年度	継続		
								H31年度	継続		
								H32年度	継続		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(58.6)	うち市負担分(百万円)	(58.6)
								H33年度	継続		
担当課	部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分	一般		事業区分	ソフト

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-2		都市におけるみどりの形成											
2	事業名	【再掲】緑の基本計画推進事業													
	目的 及び 概要	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な 保全及び緑化の推進に関する目標や取り組 み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的 に実施する。 【関連取組:6-2-1 都市とみどりの共存】				H 29 年度	内 容	①緑の相談事業 27万円 ②情報発信ツールの作成 ③緑化講習会の検討 ④緑化イベントの検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.3)	うち市負担分 (百万円)	(0.3)	H30 年度	継続
													H31 年度	拡充	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	拡充	
	担当課	部名	産業環境部		課名	農とみどり推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
3	事業名	公園等再整備事業													
	目的 及び 概要	整備後、相当年数が経過している公園につ いて、公園施設長寿命化計画に基づき、順 次、住民ニーズや地域の実情に即した再整 備を実施していく。				H 29 年度	内 容	①公園再整備等 3箇所(耳原公園、桑田公園、奈 良東公園)9千7百万円 ②地元調整 ③実施設計					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	107.0	うち市負担分 (百万円)	67.0	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	公園緑地課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 公園整備事業												
	目的 及び 概要	当該公園の所在する付近住民及び各施設利用者が、身近で安全な空間と快適な環境を確保できるよう、地域の公園利用の実態により、公園の整備や改良を行う。 【関連取組:6-3-2 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入促進】	H 29 年度	内 容	①元茨木川緑地再整備基本方針の検討 541万円 ②シンポジウム等の開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	5.4	うち市負担分 (百万円)	5.4	H32 年度	継続					
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

5	事業名 若園公園バラ園再整備事業												
	目的 及び 概要	若園公園バラ園において、バラ苗木の老化による樹勢の衰えが顕著となっているため、苗木の更新及び植栽基盤の整備と併せ地下透水管等の施設の再整備を実施する。	H 29 年度	内 容	①苗木更新、植栽基盤整備 900万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	9.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	完了					
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

6	事業名 新名神周辺遊歩道等整備事業												
	目的 及び 概要	市民に北部地域の自然等の魅力を実感してもらい、北部地域への関心を高めるため、地域住民、ボランティア団体と連携し、回遊路・施設案内板等の整備を行う。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】 ※第3期実施計画検討より、取組552へ移動。	H 29 年度	内 容	①回遊路の維持管理 ②展望台の設置 ③ビオトープの移管						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		拡充	事業費 (百万円)	5.4	うち市負担分 (百万円)	5.4	H32 年度	継続					
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

7	事業名 公園施設長寿命化対策事業												
	目的 及び 概要	公園等の施設の長寿命化を図る。 (長寿命化のための公園施設データの収集・整理・保管・更新のためのシステム構築など。)	H 29 年度	内 容	③保守管理 40万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
											H30 年度	継続	
											H31 年度	継続	
方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H32 年度	継続					
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

8	事業名 岩倉公園防災公園街区整備事業											
	目的 及び 概要	独立行政法人都市再生機構(UR)による防災公園街区整備事業の活用により、当該地域の防災機能の強化をはかるとともに、都市景観の向上や市民の憩いの場としての総合的な公園機能の充実を図るため、URが工場跡地の一部を取得し、防災公園と市街地整備を行ったもので、URより用地の買戻を行う。	H 29 年度	内 容	①岩倉公園整備(URより買戻)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
				方向性 (対前年度比)						継続	事業費 (百万円)	204.0
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ハード			
9	事業名 さくらまつり実施事業											
	目的 及び 概要	身近な自然に親しむ場や交流、レクリエーションの場を提供することで、豊かな環境を啓発するとともに、市民の連帯感やふるさと意識の充実を高め、まちの活性化を図る。市の魅力ある資源として桜の魅力をいっそう引き出していくため、桜をより自然な状態で楽しむことができるよう改善を進めながら、市民活動や市民主体による催しの場として、催しの主催者の経費負担による活用を検討していく。	H 29 年度	内 容	①市民活動や市民主体の催しの場としての活用を関係課と検討 ②周辺住民に配慮し改善して実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	縮小
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
				方向性 (対前年度比)						継続	事業費 (百万円)	14.6
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-3		★ 良好な景観の保全と創造																	
10	事業名		景観賞表彰及び記念講演事業																		
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成に関する市民意識の高揚を図るため、建築物やまちなみ及び市民等による活動等に対する表彰と記念講演を概ね5年毎に実施する。(次回、H30年度実施予定)										H 29 年度	内 容	H30年度実施予定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
																				H30 年度	継続
																				H31 年度	継続
																				H32 年度	継続
				方向性 (対前年度比)	-	事業費 (百万円)	-	うち市負担分 (百万円)	-	H33 年度	継続										
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト								
11	事業名		屋外広告物指導事業																		
	目的 及び 概要	屋外広告物は、景観形成に対する影響が大きいことから適切な誘導が重要であり、茨木市景観計画、景観条例と整合を図りながら、建築物等と一体となった景観誘導を進めるため、現在改正が進められている府条例の内容を踏まえ、本市独自の屋外広告物条例を制定し、良好な景観形成を図る。										H 29 年度	内 容	①屋外広告物の制限の必要性について検討						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
																				H30 年度	継続
																				H31 年度	継続
																				H32 年度	継続
				方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続										
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト								

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	景観重要建造物等指定事業											
	目的 及び 概要	本市の良好な景観形成を推進するため、景観上重要な建造物、樹木、公共施設を指定する。	H 29 年度	内 容	①景観上保全が必要な対象物があれば指定							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H30 年度	継続
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
13	事業名	景観形成推進事務事業											
	目的 及び 概要	都市景観整備を総合的かつ計画的に推進するため、建築行為等について、茨木市景観計画及び景観条例に基づき協議、指導等を行い、屋外広告物については、大阪府屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置、掲出に対して設置場所や大きさの審査を行い、設置申請に許可をする。	H 29 年度	内 容	①景観の事前協議、届出受付 ②屋外広告物の許可							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H30 年度	継続
											H31 年度	継続	
											H32 年度	継続	
											H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-4		良 好 な 住 宅 ス ト ッ ク の 形 成																
14	事業名		【再掲】既存民間建築物耐震化補助事業																	
	目的 及び 概要	地震災害から市民の生命及び財産を守るため、民間の住宅・特定建築物の耐震診断費用及び木造住宅、共同住宅の耐震改修費用の一部を補助する。 【4-1-3:建築物の耐震化の促進】	H 29 年度	内 容	①木造住宅・共同住宅の耐震診断・改修補助を行う。 ②非木造住宅・特定建築物の耐震診断補助を行う。								事業の方向性 の見込み (対前年度比)							
					H30 年度		継続		H31 年度		継続		H32 年度		継続					
					方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		(35.4)		うち市負担分 (百万円)		(15.1)		H33 年度		継続	
					H33 年度		継続													
担当課	部名	都市整備部		課名	居住政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト							
15	事業名		居住マスタープラン策定事業																	
	目的 及び 概要	人口減少、少子・高齢化等に伴う社会状況の変化や活力低下、また、建築物の老朽化等による災害リスクの増大などの課題に対応するため、市民生活の基盤である住宅や住環境の維持・充実と定住促進を図る計画として、本市の住宅政策の方針と施策を示し、市民の暮らしの充実と安定した住生活の実現を目指す。	H 29 年度	内 容	①目的・現状・課題等の整理と調査分析 ②意向調査、分析								事業の方向性 の見込み (対前年度比)							
					H30 年度		継続		H31 年度		継続		H32 年度		継続					
					方向性 (対前年度比)		継続		事業費 (百万円)		6.5		うち市負担分 (百万円)		4.5		H33 年度		継続	
					H33 年度		継続													
担当課	部名	都市整備部		課名	居住政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	事業名 長期優良住宅認定事務事業											
	目的 及び 概要	長期にわたり良好な状態で使用されるための措置が講じられた優良な住宅の普及を促進することにより、住生活の向上及び環境への負荷の軽減を図るため、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅建築等計画の認定を行う。	H 29 年度	内 容	①長期優良住宅新築等計画の審査をし、認定を行う。 ②認定を受けた長期優良住宅で一定の年数が経過したものについて、維持保全状況の報告を求める。						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
											H33 年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
17	事業名 多世代近居・同居支援事業											
	目的 及び 概要	多世代の近居・同居に向けた住宅取得やリフォームに対して補助を行うことで、多世代が支えあって暮らせるまちづくりを進め、子育てや介護など、各世代が抱える不安の軽減を図るとともに、定住促進を図る。	H 29 年度	内 容	①茨木市多世代近居・同居支援事業補助の創設、実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
											H33 年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-5-5		公的住宅の改善・充実													
18	事業名		市営住宅長寿命化計画推進事業														
	目的 及び 概要	市営住宅を安全で安心な住まいとして長期間にわたって確保するため、耐震改修や長寿命化改善など適切な維持管理を実施することにより、効率的・効果的な活用に努める。	H 29 年度	内 容	①平成28年度に耐震設計を行った棟の耐震改修、外壁改修、屋上防水工事等を実施 ②外壁改修、屋上防水等の改善設計							事業の方向性 の見込み (対前年度比)					
												H30 年度	継続				
												H31 年度	継続				
												H32 年度	完了				
												H33 年度	-				
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	292.0	うち市負担分 (百万円)	240.0							
担当課	部名	建設部	課名	建築課	会計区分	一般	事業区分	ハード									

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の方向性	将来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくりを進めます。	
取組 ★：重点プラン 該当取組	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
	4	★ 北部地域の魅力向上
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)												
1	事業名	◎ 立地適正化計画策定事業													
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H 29 年度	内 容	①都市機能誘導施設の検討 ②居住誘導区域の検討					事業の方向性の 見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.2	うち市負担分 (百万円)	3.1	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部 名	都市整備部		課 名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
2	事業名	◎ 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業													
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	①内閣府との協議、エリアマネジメント体制の構築 検討、デザイン指針の検討					事業の方向性の 見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(4.8)	H30 年度	-
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
													H33 年度	-	
	担当課	部 名	都市整備部		課 名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

★：重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-2		★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備													
3 事業名		◎ 茨木市中心市街地活性化事業															
目的 及び 概要		本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実（拠点の配置とネットワークの維持・増進）】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①内閣府との協議・調整、エリアマネジメント体制の構築検討、デザイン指針の検討						事業の方向性の見込み (対前年度比)			
														H30 年度	-		
														H31 年度	-		
														H32 年度	-		
														H33 年度	-		
				方向性 (対前年度比)		完了		事業費 (百万円)		4.8		うち市負担分 (百万円)		4.8			
担当課		部名		都市整備部		課名		市街地新生課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	◎ JR茨木駅構内エスカレーター整備事業													
	目的 及び 概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図るため、駅構内におけるエスカレーター設置等を行うとともに、本事業により暫定整備となっている東口駅前広場上部デッキ底部分ならびに駅前広場の交差点整備を行う。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①駅構内エスカレーター整備負担金7億3,337万円 ②東口上部デッキ底部分及び交差点改良工事3,000万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	763.4	うち市負担分 (百万円)	396.7	H30 年度	完了
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
													H33 年度	-	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

5	事業名	◎ 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業													
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①事業基本計画 3,188万円 1測量業務(駅前広場・道路・駅前ビル) 2基本設計作成(駅前広場・交差点等) 3関係機関との協議 4事業採択時評価 5東口周辺のあり方検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	31.9	うち市負担分 (百万円)	27.2	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

6	事業名	◎ JR茨木駅西口駅前周辺整備事業													
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①基本計画策定等 1,481万円 1まちづくり協議会運営支援 2公共施設・施設建築物基本計画 3関係機関協議					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	14.9	うち市負担分 (百万円)	11.7	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

7	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業													
	目的 及び 概要	都市計画マスタープランで掲げた本市の都市づくりを推進し、活力維持と持続可能な都市の実現に向け、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】				H 29 年 度	内 容	①都市機能誘導施設の検討 ②居住誘導区域の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(6.2)	うち市負担分 (百万円)	(3.1)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

8	事業名	【再掲】創業促進補助事業													
	目的 及び 概要	本市における創業を促進するため、新たに営利を目的として創業する者に対して、テナント料(6か月又は12か月分・限度額 月額5万円)及び改装工事費の1/2(限度額50万円)を補助する。 また、中小企業経営アドバイザーとともに、事業計画の作成に関する指導等を行い、開業後の巡回訪問により状況把握に努める。 【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】				H 29 年度	内 容	①市内で新たに営利を目的として創業する者に対して補助金を支給						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(11.3)	うち市負担分 (百万円)	(11.3)	H33 年度	継続								
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

9	事業名	【再掲】商工会議所事業補助													
	目的 及び 概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-1-3 商業の活性化】 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】				H 29 年度	内 容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(13.9)	うち市負担分 (百万円)	(13.9)	H33 年度	継続								
担当課	部名	産業環境部		課名	商工労政課		会計区分		一般		事業区分		ソフト		

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-3		(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり											
10	事業名	(仮称)JR総持寺駅整備事業													
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	①(仮称)JR総持寺駅の設置及び自由通路整備に要する工事関係負担金						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	完了
														H31 年度	-
														H32 年度	-
														H33 年度	-
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ハード							
11	事業名	阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備事業													
	目的 及び 概要	平成30年春に(仮称)JR総持寺駅が開業することから、その整備効果をより活かすため、阪急総持寺駅西口に駅前交通広場を整備することにより、総持寺地域の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。				H 29 年度	内 容	①委託 C=21百万円 (基本設計、物件調査等) ②補償 C=42百万円						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	拡充
														H31 年度	継続
														H32 年度	完了
														H33 年度	-
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード							

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	(仮称)JR総持寺駅開業記念式典の実施											
	目的 及び 概要	東海道本線 摂津富田・茨木間に建設中である(仮称)JR総持寺駅の平成30年春開業を記念し、関係者を招き、新駅開業及び駅前広場、自由通路等周辺整備の完成を祝う式典を、JR西日本との共同開催にて行う。	H 29 年 度	内 容	①負担金(JR西日本)1.6百万円							事業の方向性 (対前年度比)	
												H30 年度	-
												H31 年度	-
												H32 年度	-
										方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	1.6
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-6-4		★ 北部地域の魅力向上										
13	事業名 ◎ 北部魅力アップ事業													
目的 及び 概要	本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、現在事業推進している安威川ダム、新名神高速道路、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域や関係団体とともに進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①魅力向上事業 (資源や人、組織との連携強化と対話の推進、プロモーション展開) ・新名神開通イベントの実施 ・「いばきた」フォトサイクリングの実施						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.8	うち市負担分 (百万円)	8.8	H33 年度	継続	
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
14	事業名 ◎ ダム周辺整備事業													
目的 及び 概要	平成32年7月に完成する安威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年 度	内 容	①民間活力を導入した制度設計、検討など						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	31.0	うち市負担分 (百万円)	16.8	H33 年度	完了	
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分	ハード		
15	事業名 【再掲】ダム推進事業													
目的 及び 概要	安威川流域住民の生命と財産を守り、安全なまちづくりの推進に必要な安威川ダムについて、大阪府等と連携を図り、事業の建設促進を図る。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】				H 29 年 度	内 容	①建設促進						事業の方向性の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
						方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H33 年度	完了	
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

16	【再掲】新名神周辺道路等整備事業												
目的 及び 概要	新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図るとともに、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】	H 29 年度	内 容	①市道泉原千提寺線道路改良事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H30 年度	継続		
										H31 年度	継続		
										H32 年度	完了		
										H33 年度	-		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

17	【再掲】千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業												
目的 及び 概要	千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。 【関連取組:3-3-4 歴史遺産の保存・継承】	H 29 年度	内 容	①埋蔵文化財確認調査 338万円 ②科学分析 50万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H30 年度	完了		
										H31 年度	-		
										H32 年度	-		
										H33 年度	-		
担当課	部名	教育総務部	課名	社会教育振興課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

18	【再掲】ダム周辺道路整備事業												
目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】	H 29 年度	内 容	①スポレク関連道路事業(車作1号線)							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
										H30 年度	継続		
										H31 年度	継続		
										H32 年度	継続		
										H33 年度	完了		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード				

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
施策の方向性	限られた資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のまちづくりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めています。これにより、将来にわたって住み続けることができるまちをめざします。 今後増加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
	3	危険家屋・老朽マンション対策
	4	都市計画施設の見直し
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-7-1	環境負荷の低減
1	事業名	低炭素都市づくり推進事業
	目的及び概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】
	H29年度	内容 ①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	0.0
	うち市負担分 (百万円)	0.0
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
	H33年度	継続
担当課	部名	都市整備部
	課名	都市政策課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-7-2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
2	事業名	◎ バリアフリー化推進事業(ソフト)
	目的及び概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害者等が利用する施設が集まった地区(重点整備地区)のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進する。
	H29年度	内容 ①バリアフリー基本構想に基づいた取組の進行管理
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	0.0
	うち市負担分 (百万円)	0.0
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
	H33年度	継続
担当課	部名	建設部
	課名	道路交通課
	会計区分	一般
	事業区分	ソフト
3	事業名	◎ バリアフリー化推進事業(ハード)
	目的及び概要	バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区の道路などのバリアフリー化に取り組む。
	H29年度	内容 ①工事 ・生活関連経路のバリアフリー化 C=27.0百万円
	方向性 (対前年度比)	継続
	事業費 (百万円)	27.0
	うち市負担分 (百万円)	12.2
	H30年度	継続
	H31年度	継続
	H32年度	継続
	H33年度	継続
担当課	部名	建設部
	課名	道路交通課
	会計区分	一般
	事業区分	ハード

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 福祉のまちづくり事業											
目的 及び 概要	高齢者や障害者が、安全で気軽にあらゆる社会に参画し、自らの意思で自由に行動できるよう、都市施設のうち大阪府福祉のまちづくり条例に基づく基準適合努力義務対象建築物について、事前協議を行う。	H 29 年度	内 容	①事前協議書の受領・審査及び完了届出書の審査							事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H30 年度	継続
											H31 年度	継続
											H32 年度	継続
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-7-3		危険家屋・老朽マンション対策											
5	事業名		空家対策事業												
	目的 及び 概要	少子高齢化や人口減少の進行により、今後空家の増加が懸念されるため、「(仮称)空家対策基本計画」を策定し、空家化を抑制すると共に、空家の適正管理、利活用を促進する。				H 29 年度	内 容	①空家の活用を促進する手法の検討 ②協議会の運営 ③特定空家の判断基準の作成 ④特定空家の措置に関する条例の制定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
												H32 年度	継続		
													H33 年度	臨時 拡充	
担当課		部名	都市整備部		課名	居住政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
6	事業名		マンション建替円滑化等事務事業												
	目的 及び 概要	マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行います。				H 29 年度	内 容	①マンションの適正管理や建替事業が円滑に行われるよう支援を行う。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
														H33 年度	継続
担当課		部名	都市整備部		課名	居住政策課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
7	事業名		建築物維持保全指導事業												
	目的 及び 概要	良好な居住環境を保全するため、適法に維持保全されていない建築物の所有者等に適法な状態を継続的に保つよう指導を行う。				H 29 年度	内 容	①建物維持保全指導 ②文書指導						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
														H33 年度	継続
担当課		部名	都市整備部		課名	審査指導課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-7-4		都市計画施設の見直し											
8	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業													
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備 や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地 利用の誘導】				H 29 年 度	内 容	①都市計画決定等					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の方向性	国土軸に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
	3	駐車場・駐輪場の充実
	4	歩行者、自転車利用環境の整備
	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-1		★ 公共交通の維持・充実											
1	事業名 ◎ 茨木市総合交通戦略事業														
	目的 及び 概要	本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。				H 29 年度	内 容	①計画の進行管理 ②計画に位置づけられている短・中期施策の実施						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	臨時 拡充
														H31 年度	臨時 拡充
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続								
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名 ◎ 公共交通対策事業(ハード)														
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。				H 29 年度	内 容	③市民の移動利便性向上に向けた施策の検討 ⑤公共交通マップ:C=4.0百万円 ⑥タクシーによる移動困難者への支援のあり方、 方策 の検討 ⑦バスロケーションシステム導入事業補助 C=2.7百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	6.7	うち市負担分 (百万円)	6.7	H33 年度	継続								
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード				
3	事業名 ◎ 公共交通対策事業(ソフト)														
	目的 及び 概要	将来の交通体系づくりの基本理念、基本方針に基づき、9のテーマと短、中期及び長期で実施する20の交通施策に取組み、目標とする「まちの将来像」を実現する。				H 29 年度	内 容	①地域バス路線維持費補助金						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
														H30 年度	継続
														H31 年度	継続
														H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.5	うち市負担分 (百万円)	1.5	H33 年度	継続								
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-8-2		★ 道路整備の推進										
4	事業名 茨木松ヶ本線整備事業													
	目的 及び 概要	市街地中心部の交通混雑の緩和のため、平成29年度末の完了をめざし、府道大阪高槻京都線(松ヶ本町)から東中条町までの1,060mを道路新設、拡幅改良する。	H 29 年 度	内 容	①使用料 C= 6.0百万円 ②工事 C=395.0百万円 ③用地 C= 36.0百万円 ④負担金 C= 2.0百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	-	
												H31 年度	-	
												H32 年度	-	
方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	439.0	うち市負担分 (百万円)	252.0	H33 年度	-							
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
5	事業名 山麓線整備事業													
	目的 及び 概要	市域山麓部の東西交通と彩都アクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】	H 29 年 度	内 容	①委託 C= 20.0百万円 ②工事 C=260.2百万円 ③用地 C=100.0百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	完了	
												H32 年度	-	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	380.2	うち市負担分 (百万円)	272.2	H33 年度	-							
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					
6	事業名 新名神推進事業													
	目的 及び 概要	西日本高速道路㈱が整備する新名神高速道路及び大阪府が整備するアクセス道路の建設促進を図る。	H 29 年 度	内 容	①建設促進 ②施設移管							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	-	
												H31 年度	-	
												H32 年度	-	
方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	-							
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
7	事業名 新名神周辺道路等整備事業													
	目的 及び 概要	新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】	H 29 年 度	内 容	①市道泉原千提寺線道路改良事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	完了	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	101.1	うち市負担分 (百万円)	51.6	H33 年度	-							
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

8	事業名	(仮称)JR総持寺駅周辺整備事業													
	目的 及び 概要	JR京都線摂津富田・茨木間に新駅が設置されることを受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	①庄中央線 C=331.8百万円 ②総持寺9号線ほか C=517.5百万円 ③総持寺駅前線 C=573.3百万円 ④公嘱 C= 10.0百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1432.6	うち市負担分 (百万円)	890.8	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	完了	
													H33 年度	-	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
9	事業名	道路新設・改良事業(補助分)													
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、国からの補助採択を受けて、用地買収、歩道整備や車道の拡幅及び交差点改良を行う。				H 29 年度	内 容	①市道宿久庄二丁目安威一丁目線 C=67.0百万円 ②市道天王一丁目沢良宜西二丁目線 C=63.4百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	130.4	うち市負担分 (百万円)	96.3	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
10	事業名	道路新設・改良事業(単独分)													
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、市の単独事業として現道に沿って歩道及び車道の拡幅整備を行う。				H 29 年度	内 容	②大岩9号線(ダム関連) C=343.8百万円 ④市道千提寺2号線 C=20.0百万円 ⑤大住町地区内線 C=30.0百万円 ⑥安元地区内線 C=63.1百万円 ⑦市道高田町豊川四丁目線 C=20.0百万円 ⑧岩倉町地区内線 C=30.0百万円 ⑨中央通り壁面改修 C=35.0百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	541.9	うち市負担分 (百万円)	138.6	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
11	事業名	橋梁新設改良事業													
	目的 及び 概要	橋梁耐震診断の結果を基に、補強・補修をすることにより、地震発生時における安全を確保するとともに、老朽化橋梁の架け替えや改良を実施する。				H 29 年度	内 容	①野々宮3号線(あけぼの橋) C=106.5百万円 ②橋梁耐震補強(工事) C=60.0百万円 ③橋梁耐震補強(設計委託) C=62.0百万円					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	228.5	うち市負担分 (百万円)	57.3	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

12	事業名	橋梁維持事業													
	目的 及び 概要	本市管理橋梁の定期的な点検及び計画的な維持修繕を継続的に実施することにより、橋梁を常に健全な状態に保ち、歩行者及び車輛の通行の安全を確保するとともに、予防保全による計画的修繕(長寿命化修繕)を実施することによりコストの縮減を図るため、計画的な維持修繕を実施する。				H 29 年度	内容	①工事 ②負担金(定期点検) ③委託(設計委託)				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	107.5	うち市負担分 (百万円)	59.4	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

13	事業名	【再掲】彩都建設推進事業													
	目的 及び 概要	広くは大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。彩都のまちづくりを進めるため、大阪府、都市再生機構、民間事業者及び庁内関係各課等と協議調整を行いながら整備を進める。 【関連取組:5-4-2 彩都のまちづくり】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内容	①(西部地区) 交番の設置要望及び警察官立寄所の設置への取組み ②(中部地区) 市に換地される土地への企業等の誘致の実施 ③(東部地区) 先行エリアの事業推進 ④(東部地区) 残りのエリアの事業化に向けた取り組み				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(17.5)	うち市負担分 (百万円)	(17.5)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	継続	
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

14	事業名	◎【再掲】ダム周辺道路整備事業													
	目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。 【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】 【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】				H 29 年度	内容	①スポレク関連道路事業(車作1号線)				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(26)	うち市負担分 (百万円)	(14.1)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続	
													H32 年度	継続	
													H33 年度	完了	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分	ハード		

15	事業名	茨木松ヶ本線竣工式典の開催													
	目的 及び 概要	茨木松ヶ本線の全線供用開始を記念し、供用開始記念式典を開催する。				H 29 年度	内容	①委託料 C=2.9百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
								方向性 (対前年度比)	新規 完了	事業費 (百万円)	2.9	うち市負担分 (百万円)	2.9	H30 年度	-
													H31 年度	-	
													H32 年度	-	
													H33 年度	-	
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-3		駐車場・駐輪場の充実										
16	事業名		市営駐車場管理運営事業											
	目的 及び 概要	本市内の道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するため駐車場施設の管理運営を行う。	H 29 年度	内 容	①指定管理者による駐車場管理運営 ②JR新駅開業に伴う市営駐車場の追加							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	△319.2	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続		
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
17	事業名		市営駐車場修繕事業											
	目的 及び 概要	市民が市営駐車場を常に良好な状態で利用してもらうため、定期的に施設を点検する。損傷状態を判定して修繕を実施する。	H 29 年度	内 容	①定期的な施設点検 ②施設の修繕							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	11.8	うち市負担分 (百万円)	11.8	H33 年度	継続		
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
18	事業名		送迎用バスターミナル管理運営事業											
	目的 及び 概要	JR茨木駅周辺の道路交通の円滑化のため、送迎用バスターミナル(上穂東町・松ヶ本町)の管理運営を行う。	H 29 年度	内 容	①用地賃借料 ②交通整理員の配置							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	28.8	うち市負担分 (百万円)	17.4	H33 年度	継続		
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-8-4		歩行者、自転車利用環境の整備										
19	事業名	自転車利用環境整備事業												
	目的 及び 概要	安全で快適な自転車の利用環境を実現させることを目的に自転車利用環境整備計画に基づいて整備を行う。	H 29 年度	内 容	②自転車ネットワーク路線の整備 ・東奈良三丁目平田台線ほか5路線 C=20.0百万円							事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
												H30 年度	継続	
												H31 年度	継続	
												H32 年度	継続	
												H33 年度	-	
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード					

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取 組		5-8-5		★ 交通安全対策の推進												
20	事業名 ◎ 交通安全対策事業															
	目的 及び 概要	交通事故の撲滅や無秩序なめいわく駐車・違法駐車の排除を図るため、幼稚園・小中学校等での交通安全教室を実施しするとともに、交通安全推進団体に対し交付金を付与する。 また、高齢者の自転車乗用中の転倒による頭部損傷の重大事故から身を守る自転車用ヘルメットの着用を、広く市民に啓発推進する。				H 29 年度	内 容	①交通安全教室の実施 ②「交通事故をなくす運動」茨木市推進本部交付金 C=15.0百万円 ③高齢者向け自転車用ヘルメット市民モニター募集に伴うヘルメットの購入 C=1.0百万円						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
														H30 年度	継続	
														H31 年度	継続	
														H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	16.0	うち市負担分 (百万円)	16.0	H33 年度	継続									
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト								
21	事業名 ◎ 歩道設置事業															
	目的 及び 概要	歩行者等の安全確保やバリアフリー化を推進するため、通学路になっている市道において歩道を整備するとともに、歩道の段差解消や改良を行う。				H 29 年度	内 容	①歩道設置工事 ・田中町西河原線(物件調査・登記費用) C= 4.5百万円 ・三島丘二丁目鮎川線 C= 7.5百万円 ・西豊川町2号線 C= 9.6百万円 ・西河原北町西太田線 C=25.0百万円 ②歩道段差改良工事 C=12.0百万円 ③横断歩道新設工事 C=11.0百万円 ④通学路カラー舗装 C= 2.0百万円 ⑤工事負担金ほか C= 5.3百万円						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
														H30 年度	継続	
														H31 年度	継続	
														H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	76.9	うち市負担分 (百万円)	67.5	H33 年度	継続									
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード								
22	事業名 ◎ 交通安全施設整備事業															
	目的 及び 概要	道路の安全性向上を図るため、市道及び市管理道路において安全施設(カーブミラー、横断防止柵、ガードレール、車止め等)を整備する。				H 29 年度	内 容	①交通安全施設整備事業						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
														H30 年度	継続	
														H31 年度	継続	
														H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	55.0	うち市負担分 (百万円)	55.0	H33 年度	継続									
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード								
23	事業名 ◎ 交通安全施設維持管理事業															
	目的 及び 概要	市道及び市管理道路において設置されている道路の安全施設(カーブミラー、横断防止柵等)の維持管理を行うとともに、交通量を調査し、道路改良工事における資料として活用する。				H 29 年度	内 容	①交通安全施設修繕 ②交通量調査						事業の方向性の見込み (対前年度比)		
														H30 年度	継続	
														H31 年度	継続	
														H32 年度	継続	
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	18.9	うち市負担分 (百万円)	18.9	H33 年度	継続									
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード								

24	事業名 放置自転車等対策事業												
目的 及び 概要	駅前周辺的美観の保持と歩行者等の安全確保を図るため、市内各駅からおおむね300メートルの範囲を放置禁止区域とし放置されている自転車・ミニバイクを定期的に撤去、移動作業を行う。 放置自転車が多い箇所を対象に、路上駐輪場の整備検討を行う。コミュニティサイクルの拡充を行い放置自転車の抑制を行う。				H 29 年 度	内 容	①駅前指導・移動・保管 ②保管事務所の警備					事業の方向性の見込み (対前年度比)	
												H30 年度	継続
												H31 年度	継続
												H32 年度	継続
												H33 年度	継続
		方向性 (対前年度比)		継続	事業費 (百万円)	33.6	うち市負担分 (百万円)	27.1					
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する
施策の方向性	まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力を発信していきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	民間との連携、活力の活用
	2	市民による地域づくり
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取 組		5-9-1		民間との連携、活力の活用										
1	事業名 エリアマネジメント推進検討事業													
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営（マネジメント）等の地域を育てる取組を推進する。				H 29 年度	内 容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H33 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
2	【再掲】地域でのまちづくり推進事業													
	目的 及び 概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】				H 29 年度	内 容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③生涯学習出前講座の実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0.4)	うち市負担分 (百万円)	(0.4)	H33 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		
3	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業													
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 ※組合施行の土地区画整理事業に対する補助額については、現時点では未定。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 ②関係機関協議 【目垣地区】 ①土地区画整理組合設立支援 ②農業振興地域整備計画の変更（農林課） ③関係機関協議					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H33 年度	継続							
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分		一般		事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名【再掲】ダム周辺整備事業														
	目的 及び 概要	平成32年7月に完成する安威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】				H 29 年度	内 容	①民間活力を導入した制度設計、検討など					事業の方向性 の見込み (対前年度比)		
													H30 年度	継続	
													H31 年度	継続	
												H32 年度	継続		
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(31)	うち市負担分 (百万円)	(16.8)	H33 年度	完了
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

5	事業名【再掲】彩都建設推進事業														
目的 及び 概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H 29 年度	内 容	①(西部地区) 交番の設置要望及び警察官立寄所の設置への取り組み ②(中部地区) 市に換地される土地への企業等の誘致の実施 ③(東部地区) 先行エリアの事業推進 ④(東部地区) 残りのエリアの事業化に向けた取り組み					事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
H30 年度	継続														
H31 年度	継続														
													H32 年度	継続	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(17.5)	うち市負担分 (百万円)	(17.5)	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
6	事業名【再掲】茨木市中心市街地活性化事業														
目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H 29 年度	内 容	①内閣府との協議、エリアマネジメント体制の構築検討、デザイン指針の検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
H30 年度	-														
H31 年度	-														
													H32 年度	-	
								方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(4.8)	うち市負担分 (百万円)	(4.8)	H33 年度	-
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分		ソフト	
7	事業名【再掲】阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業														
目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H 29 年度	内 容	①事業基本計画 3,188万円 1測量業務(駅前広場・道路・駅前ビル) 2基本設計作成(駅前広場・交差点等) 3関係機関との協議 4事業採択時評価 5東口周辺のあり方検討					事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
H30 年度	継続														
H31 年度	継続														
													H32 年度	継続	
								方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(31.9)	うち市負担分 (百万円)	(27.2)	H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分		一般		事業区分		ハード	

8	事業名	【再掲】JR茨木駅西口駅前周辺整備事業												
	目的 及び 概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H 29 年度	内 容	①基本計画策定等 1,481万円 1まちづくり協議会運営支援 2公共施設・施設建築物基本計画 3関係機関協議				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(14.9)	うち市負担分 (百万円)	(11.7)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分		ハード			

9	事業名	【再掲】(仮称)JR総持寺駅整備事業												
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。 【関連取組:5-6-3 (仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり】			H 29 年度	内 容	①工事進入路の撤去、借地等用地処理、通信機械等 設置				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	(145.6)	うち市負担分 (百万円)	(94.1)	H30 年度	-
													H31 年度	-
													H32 年度	-
													H33 年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分		ハード			

10	事業名	【再掲】北部魅力アップ事業												
	目的 及び 概要	本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、現在事業推進している安威川ダム、新名神高速道路、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域や関係団体とともに進める。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】			H 29 年度	内 容	①魅力向上事業 (資源や人、組織との連携強化と対話の推進、プロモーション展開) ・新名神開通イベントの実施 ・「いばきた」フォトサイクリングの実施				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(10.8)	うち市負担分 (百万円)	(8.8)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分		ソフト			

11	事業名	【再掲】低炭素都市づくり推進事業												
	目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】			H 29 年度	内 容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議				事業の方向性 の見込み (対前年度比)			
							方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分		ソフト			

取 組		5-9-2		市民による地域づくり										
12	事業名	地域でのまちづくり推進事業												
	目的 及び 概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H 29 年度	内 容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③生涯学習出前講座の実施					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H33 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					
13	事業名	中心市街地活性化支援補助事業												
	目的 及び 概要	中心市街地の活性化を図るため、市民等によるまちづくり活動に対して補助を行う。				H 29 年度	内 容	①にぎわい創出を目的とする提案公募型公益活動支援事業(中心市街地の活性化事業)に対し補助					事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
													H30 年度	継続
													H31 年度	継続
													H32 年度	継続
													H33 年度	継続
		方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.2	うち市負担分 (百万円)	0.2	H33 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト					